

氏名 村井 啓子

所属 盛岡赤十字病院

役職 総合診療科医師

## これまでのキャリア

---

- 1974年 岩手医科大学医学部卒業  
岩手医科大学第二内科（木村武教授）入局
- 1978年 半年間、医局派遣で岩手県立大船渡病院勤務
- 1978年 盛岡赤十字病院第二内科、常勤医師として勤務
- 1999年 盛岡赤十字病院第一総合内科部長
- 2005年 盛岡赤十字病院副院長
- 2010年 いわてイーハトーヴ臨床研修病院群副代表
- 2014年 盛岡赤十字病院 総合診療科 常勤医師として現在に至る

## 私のもとではこれが学べる

---

当院総合診療科は、臓器別にとらわれない内科全般について、広く診察しています。

特に、プライマリケアは大切に、問診の仕方や医療面接が大変重要です。

初診患者さんを見た時の診察の進め方、また不定愁訴や臓器特異性に欠ける主訴に対してのアプローチの仕方や鑑別疾患の進め方、検査の出し方、検査結果の評価の仕方や考え方などを学びます。

また、不定愁訴やどの診療科を受診したらよいのかわからないという患者さんなど、そういう中から、いかにして患者さんの困った症状や主訴を取り除いてあげられるか患者さんと一緒になって考えてあげたいと思います。

そのため、当科は日常多く遭遇する common disease がたくさん学べます。

研修医の皆さんぜひ来ててください。

## 女性医師のみなさんへ

---

当科は、女性医師の方たちにも優しい診療科です。

女性医師にとって、医師の仕事と家庭の両立はとても重要な問題です。でも、ご安心ください。

当科は、ご結婚されていても、両立が可能な診療科です。

また、当院の多くの男性医師が女性医師に対して理解を示してくれています。

産前産後の休暇はもちろんのこと、子育て中の女医さんへの時短勤務も可能ですので、安心して研修に励んでください。

## 教育にける思い

---

私たちの世代は、先輩の後姿を見て育っています。できるだけ初めて研修医となる先生たちには、初期研修の2年間の間、トラブルもなく挫折を味合わせることはないように、医師として必要ないろいろな注意すべき点を教えてあげたいと思います。

そして、3年目からは、指導医の保護から離れ、自己責任となりますので自分で責任をとれるような医師になるように助言できたらいいなと思います。

完璧な医師などどこにもありません。

2年間の間に、様々な診療科の多くの先輩の後姿を見てよいところは学び、悪いところは取り入れないようにして、自分なりの自分に合った理想の医師像に向かって邁進していただきたいと思います。

## 医学生へのメッセージ

---

医師という仕事は、学問だけではなく、物の見方、考え方が大事です。学生の時は、勉強、勉強で大変で、勉強も面白くなく、つらく感じる時もあると思います。その時は、思い切って気分を変えて、医学から離れて一人でもいいし、友達と連れ立ってもいいし、思いっきり、遊んだり、音楽を聞いたり、映画を見たり、囲碁三昧にくれたり、山に登ってみたり、温泉に行ったり、室内プールで水泳や野外でのバーベキュー、テニス、サッカーやラグビーをしたり自分の好きなこと、やりたいことをやって十分にリフレッシュしてください。思いっきり遊んだ後は、満足感と軽い疲労感があり、やっぱり勉強しなくっちゃという気になります。(ここで、大事なことは、何日も何日も遊びや気分転換にのめりこまないことです。)さあ、リフレッシュも終わりました。まあ、気が済まないけど勉強しようかということになります。

医学は、確かに覚えることが確かに多く大変です。私も学生の時は棒暗記が苦手で、暗記は全くできませんでした。勉強方法1)は、いつものように前日の一夜漬けで、棒暗記をする。しかし、これでは、試験が終わるときれいさっぱり忘れてしまって、何も頭の中に残りません。

次に、勉強方法2)の正攻法では、時間はかかりますが、なぜ?どうしてこうなるの?なぜなの?と疑問を発して、時間はかかりますが、自分で調べて1つずつ納得していく方法だと勉強したという満足感が味わえ、また、自分が苦勞して調べたものは、棒暗記に比べて忘れることはありません。

しかし、これでは、定期試験や医師国家試験には間に合いません。

だからこそ、勉強方法3) 復習! 復習! 復習! あるのみ。

毎日1つでもいいから復習すること。毎日、大学の授業で学んだことを、家に帰ったら少しでも復習することをお勧めします。その時に1つでもなぜ?なぜ?なぜ?と疑問を発し、1つでもとことん追求し、納得のいくまで追求して、追求して、覚えることです。

この追求する姿勢と、なぜ?なぜ?なぜ?が医師になったときに非常に役に立ちます。

この追求心を失わないことこそが君たちを良い医師に育てると思います。

医学生たち、がんばって!! がんばって!!